

Tachikoku Times

No.0030 12月号

東京都立立川国際中等教育学校
<https://www.metro.ed.jp/tachikawa-s/>

Friday December 18, 2020

10年後の自分は？

2年職業講話 感染症対応のため、例年第2学年で実施している「職場体験」を行うことができなくなっています。その代替の取り組みとして、11月25日（水）に第2学年の「職業講話」の進路学習が行われました。今回は本校の保護者の方々に「職業講話」の依頼をし、「音楽家（ギタリスト）」「外交官」「動物園（広報）」「薬剤師」「弁理士」「システムエンジニア」の6名の保護者に来て頂きました。それぞれの仕事のやりがいや喜び、そして苦勞など、仕事をされている方々から直接、生の声を聞くことができました。5年後、立川国際を卒業する時の進路選択は10年後、20年後の自分の望む将来像と直結しています。「将来自分は…」と生き方や職業を考えるヒントとなる職業講話でした。



2022年の春 なりたい自分に 第5学年進路学習

進路実現に向けて、不安を抱えている生徒がたくさんいます。第5学年では、本校の卒業生（一橋大学在学・慶応義塾大学在学・早稲田大学在学）をお迎えして、立川国際在学中の経験やこれからの学習について話を頂きました。おそらく卒業生の方々も5・6年生の時にはたくさんの不安を抱えていたことでしょう。その不安を抱えながら、その不安と戦いながら、受験勉強に取り組んできた卒業生。卒業生と5年生とは年齢も近い



いことから、卒業生の話を聞いて「よし、頑張るぞ」と改めて思った生徒もたくさんいることでしょう。2022年の春に、自分が思う新しいスタートラインに立つことができるように、日々努力をしていきたいですね。

仮説と論証

3年総合的な学習の時間 は「総合的な学習の時間」に『興味のあることについて、仮説をたて、根拠をもとに自分なりに論証する』という取り組みを進めてきました。生徒一人一人がプレゼンテーション資料を利用して、学年の全員が発表をしました。少し緊張した表情をしながらも、しっかりとした口調で発表をしていた生徒、その発表を静かにそして真剣に聞いている生徒の姿もとても素敵でした。

サーモグラフィーで

連日、新型コロナウイルスの感染者数の状況や対応について報道が続いています。公共交通機関を利用して登校している生徒は、気を使いながら登校しています。本校ではサーモグラフィーによる体温確認を実施しています。2台のサーモグラフィーを設置し、登校して来た生徒が一人ずつサーモグラフィーのカメラを見ながらゆっくり歩いて体温の確認をしています。「検温」「うがい」「手洗い」「マスク着用」などの対応を徹底していますが、現在の状況に慣れてしまうことがないよう、「うつらない」「うつさない」に立ち返って意識をもって行動していきたいですね



毎日検温しています

